



環境活動レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

2025年6月～2026年5月

株式会社 鈴木油脂
環境事業部

当社は ISO14001 に基づく環境マネジメント活動に取り組み、18 年が経過しました。

今後も継続的な改善と地域・環境への貢献を目指します。

本報告書では、当社の 2025 年度の取り組み内容をご紹介します。ぜひご一読ください。



目次

代表者メッセージ・会社概要	1
組織図 ・ ISO 認証取得	2
基本理念と環境方針	3
2025 年度の環境目標	4
2025 年度の活動実績	5.6
2025 年度の主な環境活動トピック	7
環境監査（内部・外部）	8
リスクマネジメント	9
2026 年度の環境目標と計画	10
法令順守	11

代表者メッセージ・会社概要

【代表者メッセージ】

当社は、地域社会とともに歩む企業として、環境保全活動に真摯に取り組んでおります。2025年度は、ISO14001に基づく活動を着実に推進し、環境目標の達成に努めました。これからも全社員一丸となり、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年5月、「地球温暖化対策推進法」の7度目の改正により、国内で初めて地球温暖化対策の期限付きの目標が法律に明記されました。

改正法では、「基本理念」として2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）実現が謳われており「国民、国、地方公共団体、事業者、民間団体等が密接に連携して2050年までに脱炭素社会を実現しなければならない」とされています。

カーボンニュートラル達成には、経済や社会の大転換が必要であり、国や地方自治体、企業活動でも様々な取り組みが動き始めています。

当社でリサイクルされた食用廃油は、カーボンニュートラルに欠かせない再生エネルギーとして、SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）や発電燃料として活用されています。経済活動や社会生活のなかで発生する食用廃油を無駄なく回収・リサイクルすることで、CO2削減につながると考えております。

今後も、環境企業としての社会的価値を高められるよう、SDGsを推進し、地域との密接なコミュニケーションに積極的に取り組み、コンプライアンス（法令順守）を重視して、経営活動全般で地球環境への貢献を目指してまいります。

株式会社 鈴木油脂
代表取締役 鈴木康弘

【会社概要】

株式会社 鈴木油脂 本社工場（環境事業部）

所在地：神奈川県伊勢原市下糟屋東3丁目18番地

T E L：0463-94-3420 FAX：0463-92-3539

代表者：代表取締役 鈴木康弘

環境管理責任者：工場長 瀬戸 真二

創業：1970年1月 創立：1974年6月

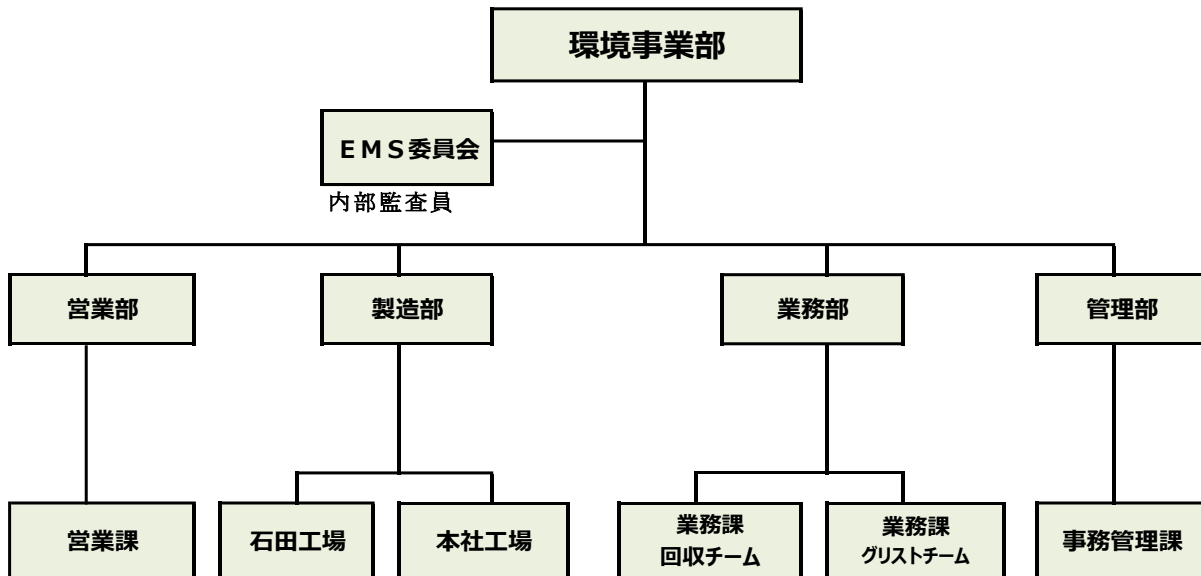
環境管理事業部従業員数：約46名（2026年6月1日現在）

事業内容（環境事業部）

- (1) 産業廃棄物（廃食油）収集運搬
- (2) 産業廃棄物（廃食油）中間処理・再生
- (3) グリストラップ清掃

組織図 ・ ISO 認証取得

【組織図】



【ISO14001 認証取得】

初回認証取得：2009年 4月（石田工場）

最新維持審査：2025年 10月 22日



基本理念と環境方針

【基本理念】

株式会社鈴木油脂は、食用油脂の製造販売処理に係る業務を柱に資源の有効活用と循環型社会の形成を目指し、「地域社会との共生」を経営理念とし、地球環境の保護と環境負荷の減少に向けて全社一丸となり、継続的に努力致します。

【環境方針】

当社は地球環境保全の重要性を認識し、環境負荷の低減、資源の有効活用、および環境関連法規制の遵守を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

(1)事業活動、製品が環境に与える影響を確実に把握し、以下の環境管理活動を実施します。

- ①業務の改善
- ②緊急事態（油流出）
- ③人材の育成

(2)SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを実施します。

(3)環境目標を設定し、妥当性を毎年見直すとともに環境マネジメントシステムを継続的に改善し汚染の予防に努めます。

(4)環境に関する法規制及びその他の要求事項を順守します。

(5)全社員及び利害関係者が環境方針を理解し、本方針に則した活動が行えるよう推進します。

(6)この環境方針はホームページとSNS（Facebook等）で広く一般に公表します。

株式会社 鈴木油脂
代表取締役 鈴木康弘

2025 年度の環境目標

18 年度（2025 年度）環境目標一覧

No.	部門名	活動	著しい 環境側面	環境目標
1	製造部門	製造工程	業務の改善	製造量 1kg あたりのエネルギー使用量 前年比 15%削減 (本社工場と石田工場のエネルギーを合計して対比)
2	事務管理 部門	事務業務	業務の改善	休眠顧客の掘り起こしによる廃油回収促進 年間 12 t （1 t /月）
				業務ミスによる離反客の防止 業務ミス発生件数ゼロ
3	業務部門	回収業務	業務の改善	廃油回収量 前年比 107%
		清掃業務	業務の改善	年間売上 前年比 155 %
		回収業務清 掃業務	油流出事故・ クレーム発生	発生件数ゼロ
4	営業部門	営業活動	業務の改善	新規獲得による回収量 前年比 124%
5	全部門	各部門共通	人材育成	個々の力量をアップする
			SDG s	市内教育機関への寄付を目的としたベルマーク集め 年間 4,000 点

1. 2025 年度の活動実績

18 年度（2025 年度）環境目標の達成状況

※期首の目標数値は三ヶ月ごとに見直しを実施しています。

部門名	著しい環境側面	環境目標	実績	評価 ○、×	達成理由
製造部門	業務の改善	製造量 1Kg あたりのエネルギー使用量 前年比 15%削減	26.5%削減	○	本社工場に作業を一本化し製造量アップとエネルギー削減につなげました。
事務管理部門	業務の改善	休眠顧客の掘り起こしによる廃油回収促進 年間 12 t (1 t /月)	年間 15.9 t	○	期首に 1 年間未回収先リスト約 800 件を作成し、9 月末まで計画的に電話連絡を実施しました。また、期末に向けて「1 日 1 件でも多く対応する」という意識を共有し、継続的に取り組みました。
		業務ミスによる離反客の防止 業務ミス発生件数ゼロ	業務ミス 6 件	×	内訳は、実績報告の誤記載 3 件、請求書の誤記載 1 件、回収実績の報告漏れ 2 件でした。主な要因は、新人が作成した書類のダブルチェック漏れや、システム化されていない報告先への手作業による処理など、ヒューマンエラーによるものでした。
業務部門	業務の改善	廃油回収量 前年比 107%	107.6%	○	増員した 2 名が即戦力となり、人手不足が解消されたことで、より迅速かつきめ細やかな対応ができました。また、4 月から小学校の回収件数が増加したことも、大きな要因となりました。
業務部門	業務の改善	年間売上 前年比 155%	115.8%	×	前期に入社した新人 2 名が定着したことで、最終清掃から期間が空いていた顧客へ手分けしてアプローチすることができ、売上増につなげることができましたが、目標の達成には至りませんでした。

部門名	著しい環境側面	環境目標	実績	評価 ○、×	達成理由
業務部門	油流出事故	発生件数ゼロ	3件	×	設備の取扱いや作業工程に起因する事故が発生しました。
	事故		7件	×	接触事故や物損事故等が発生しました。相手方に起因する事故も含め、危険予知に関する課題が見られました。
	クレーム発生		5件	×	回収業務や対応に関する事案が発生しました。業務手順や情報共有について、改善すべき課題が見られました。
営業部門	業務の改善	新規獲得による回収量 前年比 124%	128.8%	○	入札案件の獲得や新規就航クルーズ船からの回収開始、学校給食センター・大型商業施設の新規獲得に加え、乳製品メーカーや油脂メーカーのスポット案件の成約も回収量の増加に寄与しました。その結果、期中に獲得目標を上方修正しましたが、修正後の目標も達成しました。
全部門	人材育成	個々の力量をアップする	-	○	3ヶ月に一度の個人面談を実施し、計画的に進めました。
	SDGs	市内教育機関への寄付を目的としたバルマーク集め 年間 4,000 点	3938.2 点	×	開始当初は月 1 回の実績報告のみで周知不足があり、点数が伸びませんでした。その後、周知を強化したことで後半は大幅に点数を伸ばしましたが、当初の遅れを挽回するには至らず、目標達成にはわずかに届きませんでした。

2. 2025年度の主な環境活動トピック

地域貢献活動

どんど焼き商工祭り・ふれあい祭りに出店（1月・5月）

1月18日に地元・石田地区で開催された第32回「どんど焼き商工祭り」および、5月16日に実施された地域イベントにおいて、当社は恒例となっている、自社製ラードをブレンドした油で揚げたフライドポテトの販売を行いました。

地域の皆さまとの交流を深める貴重な機会となりました。今後もこのようなイベントに積極的に参加し、地域との絆をより一層深めるとともに、地域活性化にも貢献してまいります。



鈴川まつりに BDF 提供

8月22日に伊勢原市内で開催された第49回鈴川まつりでは、BDF（バイオディーゼル燃料）を使用した提灯点灯のイベントがあり当社からBDFを提供いたしました。環境にやさしい燃料であかりを灯す取り組みが、地域のお祭りの中でご協力できたことをとても嬉しく思います。



3. 環境監査（内部・外部）

内部監査

2025年8月25日・26日

記録類の確認及び部門長・現場担当者へのインタビューを通じて、目標への取り組み、法令順守、緊急事態対応、教育訓練安全対策などを確認しました。



外部審査（定期維持審査）

2025年10月23日

今年で18年目となるISO14001外部審査は、本社工場で1日かけて行われ、文書・記録類の確認および工場の現場視察が行われました。

長年にわたり継続して取り組んできた環境マネジメント活動は、審査の結果、特段の指摘事項もなく安定した運用が評価されました。



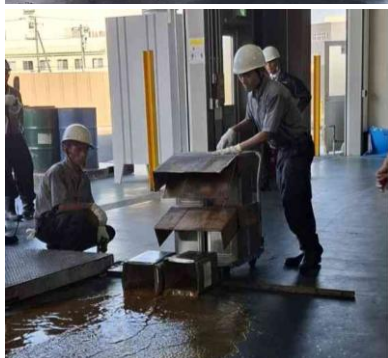
4. リスクマネジメント

緊急事態対応定期テスト

2025年10月12日

本テストは ISO の緊急事態対応手順に基づき、手順や対応内容を正しく理解し、的確に行動できるかを確認する目的として、全社員で実施しております。

今回は、人命救助訓練や新たなシミュレーションを取り入れ、より現場に即した内容で実施しました。通行人負傷を想定し、救急要請から油処理・報告までの一連の流れを確認するなど、初動対応の速さと判断力の重要性を再認識しました。



避難訓練・防災訓練

2025年10月12日

緊急事態対応定期テストの後に、各部署で「業務中の地震発生」を想定して訓練を実施しました。事務所・外出中・工場作業中それぞれの状況に応じた避難行動を確認し、消火器や担架の使用方法を訓練しました。防災意識の向上と、緊急時に迅速かつ安全に行動するための知識を改めて確認する良い機会となりました。



5. 2026 年度の環境目標と計画

19 年度（2026 年度）環境目標一覧

No.	部門名	活動	著しい 環境側面	環境目標
1	製造部門	製造工程	業務の改善	1 時間あたりの処理量 前年比 112.5%
			労災	労災件数 ゼロ
2	事務管理 部門	事務業務	業務の改善	1 時間あたりの入庫量 前年比 100%
				1 時間あたりのグリスト売上高 前年比 124%
3	業務部門	回収業務	業務の改善	廃油回収量 前年比 115%
		清掃業務	業務の改善	年間売上 前年比 140 %
		回収業務清 掃業務	油流出事故・ クレーム発生	発生件数 ゼロ
4	営業部門	営業活動	業務の改善	新規獲得による回収量 前年比 500%
5	全部門	各部門共通	人材育成	個々の力量をアップする

2026 年度も基本理念と環境方針に基づき、環境負荷の低減と地域社会への貢献を目指して取り組んでまいります。

6. 法令順守

当社では、環境関連の法令・条例・協定等を遵守することを環境マネジメントシステムの重要な柱と位置づけています。

年に1回以上の頻度で、最新の法規制の把握および当社活動との適合性を確認し、必要に応じて「環境法規制等登録簿」の更新を行っています。

また、内部監査においても法令順守状況を重点的に確認し、順守状況の維持・向上に努めています。

※法令順守の確認および記録の詳細は、別紙「環境法規制等登録簿（最新版）」をご参照ください。

本報告書は、株式会社鈴木油脂 環境事業部（本社工場）の環境に関する情報を、できるだけ分かりやすく開示する事を目的に発行しています。

2025年6月1日～2026年5月31日までの環境活動実績を中心に作成しました。

2026年6月1日

会社名：株式会社鈴木油脂 環境事業部（本社工場）

所在地：〒259-1148 神奈川県伊勢原市下糟屋東3丁目18番

T E L：0463-94-3420

F A X：0463-92-3539

メー ル：jimuka@suzuki-oil.co.jp

Webサイト：<https://www.suzuki-oil.co.jp/>